

地域防災力向上のため「街づくりわいわい塾」にて出前講座を実施

出前講座（街づくりわいわい塾）

講座名：盛岡周辺の防災について考える

日時：平成29年11月21日（火）

場所：盛岡市上田公民館

【概要】参加者14名

- 盛岡市民における河川災害への備えと対応（岩手河川国道事務所）
- 盛岡市の災害対応について（盛岡市総務部危機管理防災課）
- ワークショップ（テーマ：「水」を知り、「災害」から逃げる）

ワークショップ概要

盛岡市周辺の地形の特徴から見える「水」との歴史、「水」の恩恵と「水」の脅威、平成28年8月災害事例の映像と降水量、自分の周りに潜む被害の想定、「とるべき行動⇒自助」について学びました。また、各班での話し合いでは、災害から身を守るため、「何をもって逃げるのか?」、「逃げる時は誰に連絡するのか?」をグループテーマとして意見交換を行いました。



「盛岡市周辺の防災について考える」出前講座
（平成29年11月21日 街づくりわいわい塾）



▲ 森岡周辺の地形説明



▲ 各班からの発表



▲ グループごとの話し合い



▲ 各班からの発表

洪水浸水想定区域等の活用

- ✓ 水害時に**屋内安全確保（垂直避難）**では命を守りきれない区域を知る。
 - 浸水深が深い区域（洪水浸水想定区域）
 - 浸水が長期にわたり生活に大きな支障が生じる区域（浸水継続時間）
 - 洪水時に**家屋が倒壊**するような激しい氾濫流等が発生するおそれが高い区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）



これらの区域では、洪水時には避難勧告等に従って安全な場所に立退く必要があるため、「**早期の立退き避難が必要な区域**」に設定され、水害ハザードマップに記載される。

▲ 浸水想定区域活用の説明



▲ 盛岡市による「自治体の役割」